

## 石垣市シルバー人材センター 事業普及啓発促進月間活動

「石垣市シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」活動として、去る十月二〇日に普及啓発活動を実施しました。

### 奉仕活動

「シルバーの日」奉仕活動は、好天にも恵まれおよそ六十名の会員が集まりました。作業場所は市役所屋外の園地と岡崎庭園に別れ、芝刈りや植え込みの剪定、石碑等の清掃に汗を流しました。





# グラウンドゴルフ大会

奉仕活動に引き続き新栄公園に於いて、恒例のグラウンドゴルフ大会が開かれました。天候は暑くもなく寒くもなく、絶好のゴルフ日和でした。

プレーはA、Bの二コースで行なわれ、歓声が飛び交う中、元気澁刺和気あいあいのうちに進行しました。



成績は次のとおりでした。

男子の部優勝 米盛英三郎さん 四〇打

準優勝 新田健夫さん

第三位 大仲康文さん

女子の部優勝 川満美枝さん 三九打

準優勝 下里初子さん

第三位 勝連富子さん

今回はホール・イン・ワンが七名も出る等、皆さん好成绩で怪我も無く、盛況のうちに終了しました。幹事の皆さんお疲れ様でした。

# 支援要請活動

十月二十九日に中山石垣市長に対して、平成三十一年度高齢者就業機会確保事業の拡大・支援についての要請を行いました。支援要請の概要は次のとおりです。



一、石垣市からの更なる高齢者に適した業務の発注について

石垣市においても高齢者に適した業務を関係部局と連携し、会員の就業の場として発注していただきますようお願いいたします。

二、平成三十一年度に向けて更なる事業推進のための補助金確保について

当センターが今後とも拡大、発展するためにも特段のご配慮をいただきますようお願いいたします。



# 会員経験交流大会

広報部 中嶋 将博

十月十六日（火）に、浦添市でだこホールで平成三十年度シルバー人材センター会員経験交流大会が開催され、県内各シルバー人材センター会員約二百人が参加しました。

大会は翁長連合会長の挨拶で始まり、事業概要説明の後、沖縄市と南城市の会員から経



験発表がありました。沖縄市では会員拡大の取り組みとして、各種まつりでのチラシ配布、市民ホールでのパネル展、名刺の活用等を実施しているという紹介がありました。

また南城市からは、会員が観光客の相手をしたり、消防署からの受託業務を行ったり、スマートフォン講座を展開している様子が紹介されました。これらはその気になれば、石垣でも取り組み可能なことに思えました。

特別講演は、フリーアナウンサー倉持恵美さんの「今をより良く生きるための終活の方法」と題した、終活カウンセラー目線のお話でした。

終活とは、残りの人生を楽しく過ごすためのもの、断捨離をして子供に負担をかけない、エンディングノートに取り組み、「きょうよう（今日、用）ときょういく（今日、行く）」を心がける等、大いに参考になる内容でした。

会場ロビーでは、県内十七地区のセンターのうち十一地区の会報が展示されていました。それぞれの地区の特徴を活かした内容で、今後の広報紙作成の参考になりました。

## 委嘱状の交付式

平成三十年度シルバー人材センター専門部会

去る十月五日、大濱信泉記念館に於いて、シルバー人材センター専門部会委員に対する委嘱状交付式が行われ、次の皆さんに委嘱状が交付されました。

任期は十月五日から二年間です。

### ★総務部会

部長 上地 美智枝  
副部長 古見 八重子

### ★事業部会

砂川 ヒロ子  
新田 健夫  
大城 弘

部長 底原 欽一  
副部長 次呂久 功

中川 栄治  
田村 治義  
赤嶺 ヨシ子  
仲大盛 有貴江

### ★広報部会

部長 崎山 市次  
副部長 中嶋 将博

大浜 勝彦  
平地 明美

続いて開かれた各部会では、普及啓発促進月間奉仕活動及び親睦グラウンドゴルフ大会について審議されました。

# 会員の声

新田 健夫

## 「はがきエッセー」雑感

歳のせいか、日によつては五時頃目が覚めます。外は暗いので散歩も出来ません。なので布団の中でストレッチなどをして時間をやり過ぎします。時々五時を過ぎた頃、玄関で物音がすることがあります。行ってみるとポストに新聞が入っています。この時間帯に届けるには、恐らく四時頃には起きて販売所に行くと思われれます。雨、強風、真冬もあります。寢床を離れるのが辛い時もきつとあるはずです。それでも毎日、新聞を配り続けているのです。その精神の逞しさ、責任感の強さには頭が下がります。

さて、新聞配達者を励ます意味で、新聞配達に関する「はがきエッセーコンテスト」が平成六年から始まったそうです。今年で二五回目となりました。毎年十月地元紙にも入選作品が掲載されますので、会員の皆様も一読されたかと存じます。苦労の中にもプラス思考で頑張る配達者の心情が脈々と綴られており、感動を覚えます。中でも私は、第九回入選作品に特に心が打たれましたのでご紹介したいと思います。

主婦四五歳

娘二十歳、高校入学式前夜、親子二人で食事をとっていた。突然主人が頭が痛いと言ひ、それ以来意識のない体で五年が過ぎようとして

ている。当時お金も無くなり、高校に行かせる毎日も現実と思うようにはいかず、泣き伏した、明日から新聞配達をするから大丈夫だよ」と笑顔で一言。翌日暗い寒い二時に起き、自転車で二百軒近くも配るのです。心配でその後をつけると「心配したらあかん大丈夫」と言い、次の家へ向かうのです。雨の日、雪の日も私が起きないように、そつと玄関を開けて行く後姿に何度涙したことでしょう。私の知らない方が「ゆきちゃんにあげて」と大根、人参をたくさん持ってきてくれたり、「今日からゆきちゃんに配達してもらおうわ」と言ってくれさったり。また誕生日にも、配達ポストにおめでとうというメモがあったり、本人も驚いている様子でした。販売所であったかいコーヒーを入れてくださり「今日もご苦労さん」と言ってくれさったり。そんな中今年の成人式のこと、いつものように二時に販売所に行くのと千羽の折鶴がありました。配達仲間の人や配達先の人達が新聞を読んだ後一羽一羽、お父さん良くなりますように、成人式おめでとうと折ってくださったようです。

愚痴一つ言わず、休みもせず頑張った配達、たった一つの新聞で大勢の見知らぬ人達がゆきを見守ってくれさったのです。ベッドで眠る主人もきつと分かつていることでしょう。ゆきありがとう。

如何ですか、苦難を乗り越えて行くゆきさんの挑戦、そしてその覚悟には学ぶところが沢山あります。

そして孫がいる年齢に達しました。総じてすくすく育っているようかと思ひます。手前味噌ですが、我が家の豚児たちは子供中心で甘やかして育てたもんだから、未だに親のすねをかじり、自立しそつとありません。このままだと将来の面倒などみてくれるか怪しいものです。頼むからゆきさんの覚悟を参考にこつと、変容してくれと切望する今日この頃です。



## 編集後記

肌寒い秋風が吹く時期になりました。そんな中での奉仕活動、そしてグラウンドゴルフお疲れ様でした。

今回の会員の声「はがきエッセー」を読まれて、心が暖かくなった方も多くおられるのではないのでしょうか。逆に同じ心境になった方もおられるかも知れません。

これからはさらに季節が進み、だんだんと寒くなってきます。お体に十分気をつけてお仕事に励まれるようお願いいたします。

広報部会

### 【編集発行】 公益社団法人

石垣市シルバー人材センター

〒907-00002

沖縄県石垣市真栄里402番地

TEL 0980-83-8439

FAX 0980-83-8459